



セッション作成要求に **APN AMBR** を含める

- [機能情報 \(1 ページ\)](#)
- [変更された機能 \(2 ページ\)](#)
- [コマンドの変更 \(2 ページ\)](#)
- [パフォーマンス指標の変更 \(3 ページ\)](#)

機能情報

要約データ

[ステータス (Status)]	新しい機能
導入されたリリース	21.2
変更されたリリース	該当なし
対象製品	P-GW
該当プラットフォーム	ASR 5500
デフォルト設定	有効
関連する CDETS ID	CSCvd00467
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	Command Line Interface Reference P-GW System Administration Guide Statistics and Counters Reference

マニュアルの変更履歴



重要 リリース 21.2 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース	リリース日
このリリースの新機能。	21.2	2017 年 4 月 27 日

変更された機能

現在、APNAMBR は、PCRF によって変更されていない場合でも、セッション作成応答に含まれています。この機能は、3GPP 仕様に準拠するように実装されています。この機能により、受信された APN-AMBR が PCRF によって変更された場合、APN AMBR が S5/S8、S4/S11、および S2a/S2b インターフェイスに含められるようになりました。

以前の動作： APNAMBR は、PCRF によって変更されていない場合でも、セッション作成応答に含まれていました。

新しい動作： 受信された APN-AMBR が PCRF によって変更された場合、APN AMBR が S5/S8、S4/S11、および S2a/S2b インターフェイスに含められるようになりました。新しい CLI コマンドが追加され、CRF が受信した変更済みの値について、APN-AMBR 値をセッション作成応答に含めることを有効または無効にできるようになりました。



重要 P-GW では、4294967 kbps までの APN-AMBR 値がサポートされます。

コマンドの変更

egtp

2 つの新しいキーワードが **egtp** コマンドに追加され、PCRF が受信した変更された値について、APN-AMBR 値をセッション作成応答に含めることを有効または無効にできるようになりました。

```
configure
context context_name
  pgw service service_name
    [ default | no ] egtp create-session-rsp apn-ambr-always-include
  end
```

注：

- **default** : APN AMBR が PCRF から受信されていない場合、APN AMBR はセッション作成応答に含まれません。P-GW では、4294967 kbps までの APN-AMBR 値がサポートされます。
- **no** : セッション作成応答に APN AMBR が含まれません。これはデフォルトの動作です。
- **create-session-rsp** : セッション作成応答に APN-AMBR を含めるオプションを提供します。
- **apn-ambr-always-include** : セッション作成応答に常に APN-AMBR IE を含めます。

パフォーマンス指標の変更

show config

このコマンドは、以下の出力を表示するように変更されました。

```
plmn id mcc 404 mnc 00
plmn id mcc 404 mnc 005 primary
plmn id mcc 404 mnc 090
fqdn host abc.net realm 3gpp.org
dns-client context ISP1
associate ggsn-service GGSN
associate egtp-service PGW21EGTP
egtp create-session-rsp apn-ambr-always-include
```

show pgw-service name

このコマンドは、以下の出力を表示するように変更されました。

```
EGTP SGW Restoration Handling: Disabled
Session Hold Timer: n/a
Timeout: n/a
EGTP Modify bearer cmd negotiate qos: Disabled
EGTP GnGp Modify bearer res with APN-AMBR: Disabled
EGTP Modify bearer res with CHARGING-ID: Disabled
EGTP Modify bearer res with CHARGING-FQDN or CHARGING-GW-ADDRESS: Disabled
EGTP Modify bearer res with MSISDN: Disabled
EGTP Modify Bearer Response with Context Not Found cause if IMEI/IMEISV mismatch: Disabled
EGTP Bit Rate in Rounded Down Kbps: Disabled
EGTP Suppress Update Bearer Request (no bitrate change): Disabled
EGTP Create Session Response with APN-AMBR IE: Enabled
```

show pgw-service name

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。